

学校教育目標	「ふれ合い 響き合い 学び合い 輝く たけのこキッズ」				
	○学びを深めるために 主体的に取り組む力を育てます。(知) ○自分のよさや相手のよさを認め よく考えて行動する力を育てます。(徳) ○心と体の健康に関心をもち 心身共に健やかに生きる力を育てます。(体) ○地域と豊かに関わり 地域を愛する態度を育てます。(公) ○学びを生かし、多様性を尊重し 共に生きていく力を育てます。(開)				
学校概要	創立 38 周年	学校長 熊谷 潤平	副校長 小川 富美子	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 390 人	主な関係校: 荏田南中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	荏田南中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<夢や希望をもち、自分を高め、課題解決する力> <多様性を認め、伝え合い、考えを深化させる力> <自己実現を目指し、地域や社会とつながる力>	荏田南中学校 荏田南小学校 つぎの丘小学校 荏田東第一小学校	お互いの違いを認め合い、自分を高め、人とかかわり、つながる地域の子 ・全ての教育活動の基盤となる人権教育を視点にもちながら、育成を目指す資質・能力に迫る小、中学校で授業研究会を行う。(年2回) ・児童生徒交流日だけにとらわれず、個別支援学級交流(年2回)、ブロックでの合唱交流、小学校クラブ活動への参加交流、市体育大会のための朝練習交流など機会を捉えて積極的に交流を行う。

中期取組目標	○一人一人の子供が安心して、豊かに過ごせる学校にします。 ・一人一人の子供が学習に主体的に取り組む、達成感を味わえる授業づくりを推進します。 ・様々な教育活動を通して、豊かな感性を育み、自他を認め、大切に人権感覚を育てます。 ・心身の健康に関心をもち、望ましい生活習慣を目指すようにします。 ・地域(人)とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域を愛する心や大切にすることを育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①実効力のある道徳教育を目指し、特別の教科道徳の年間指導計画の見直しをして、より児童の実態に即した学習活動を取り入れ、豊かな心の育成につなげる。②小中ブロックで取り組んできた挨拶運動を推進し、「え顔で挨拶 え田東」の実現を目指す。
担当 人権・福祉部	
生きてはたらく知	①毎時間の授業において、誰もが充実感・達成感を得られる学習を目指し、子供たちが主体的、対話的に学び、自ら学力を向上させられるようにする。②児童一人一人の「分かった」「できた」「頑張った」を引き出し、深い学びが得られる授業を目指した教材研究をする。
担当 重点研究推進部	
特別支援教育	①日々のケース会議や学年研に特別支援教育コーディネーターも参加し、個に応じた具体的な支援を検討する。②特別支援教育委員会の中で情報共有をし、必要な校内体制を組んだり、関係機関と連携したりする。③通級指導教室と連携し、研修やケース会議を行い、日々の指導につなげる。
担当 特別支援部	
児童生徒指導	①「えだわんのやくそく(学校のきまり・スタンダード)」を軸として、全教職員で児童指導に取り組む。②児童の変化を敏感に見取り、迅速な初期対応をし、チームで児童指導に当たる。③学校、家庭、地域の連携を図り、共に地域の子供たちを育てていく風土を作る。
担当 児童支援部	
健やかな体	①体力・運動能力状況調査の分析結果を考察し、発達段階に応じた基礎体力の向上や多様な運動経験の積み上げを目指し、体力作り週間や集会を企画する。②健康教育について関心がもてるよう、学校保健委員会や、給食を中心とした食育指導を充実させる。
担当 体育部	
地域連携・学校運営協議会	①生活科や総合的な学習の時間をはじめとして、地域の材や人材をさらに活用した教育課程の工夫・改善を図る。②地域学校協働活動本部との連携を密にし、子供たちが価値ある体験ができる学習環境作りに努めるとともに、学校運営協議会設置に向けた準備を行う。
担当 地域連携部	
センター的機能の取組	①児童支援専任や特別支援コーディネーター、通級指導担当と連携し、校内の支援体制の充実を図る。②区内小学校の特別支援教育の充実のため、支援センター機能により専門性を生かした支援を行う。③2年目の協働型巡回指導により、各校との連携を図り、特別支援教育の充実を図る。
担当 通級指導部	
	b8
担当	
いじめへの対応	①全職員が、いじめを「しない、させない、許さない」という姿勢で、児童が安心して学校生活を送れる体制を確立する。②鋭敏ないじめリスク察知と迅速ないじめ防止対策委員会の立ち上げで情報共有をする。③いじめ未然防止のための風土作りを横浜プログラム等の研修をし、進める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①職員一人一人が主体性をもてる研修を行い、明日の授業や学級経営に生かせる実践力を高める。②心の拠り所となるメンターチームの実現を目指し、ミドルリーダーを育成する。③職員の総意に基づいた定時退勤日・週間の設定をし、業務の精選や効率化を図る。
担当 教務部	